



抗がん剤による静脈炎の対策

抗がん剤による静脈炎は発赤・腫脹・痛みなどが血管に沿って現れることを指し、薬物の血管刺激性と患者さんの血管の状態との関係で出現します。

静脈炎が見られた時は、逆血の確認と皮膚の状態、薬剤の刺激の強さで対応を判断します。また、薬剤を中止して生理食塩水などを流したり、溶解時に十分希釈したり、投与速度を遅くすることで症状の軽減を図ることがあります。

血管刺激性の強い抗がん剤とその対応の例を下記に示します。

ただし低刺激性の抗がん剤でも穿刺針の刺激や長時間の投与、血流の低下などでも静脈炎は起こります。十分な観察と、患者さんに我慢してもらわずに刺しかえる判断が重要です。また、血管が細く脆い場合や抗がん剤投与を繰り返す可能性が高い場合、血管刺激性を有する薬剤投与時は治療前にCVポート挿入をすることで予防できます。

抗がん剤	予 防 策 など	理 由
ダカルバジン	遮光(調剤からライン全部)、ポート挿入	光毒性あり発痛物質予防
ナベルピン	太い血管から投与、投与前中の血管周囲の保温、10分以内で急速注入、生食ウォッシュアウト	血管内壁の接触を短く
ジェムザール	血管周囲の保温、5%ブドウ糖液で溶解	pH、浸透圧調節
エルプラット	投与前中の腕全体の保温、ステロイド薬静注、CVポート挿入	末梢神経毒性、筋肉硬直予防

(外来化学療法センター 看護師 氏家由起子、八代亜津子)

第6回磐梯熱海オンコロジーセミナー受講生募集のお知らせ

* 日 時 * 平成24年12月1日(土)~2日(日)

* 場 所 * 磐梯熱海温泉「四季彩一力」

* 対象者 * 研修医、若手医師、大学院生、医学部学生、がん医療に携わるコメディカル

* 参加費 * 2,000円(現地集合、現地解散)※交通費は参加者の負担となります。

* 締 切 * 平成24年11月16日(金)※募集人数約20名(定員になり次第締め切ります。)

《講義内容》非小細胞肺癌と治療、分子標的治療薬総論、がん治療とがん看護、がん患者における口腔ケア、緩和医療、患者会活動、大腸がんの治療、頭頸部がんの治療、がん治療と感染症がん治療に関する基礎的知識を習得することを目的とした1泊2日の短期集中セミナーです。興味のある方は是非ご参加下さい。(がんプロフェッショナル養成支援室 山田敦代 / 問い合わせ先内線2045)

〈9月外来化学療法センター利用状況〉利用者数 293名

血液内科	22	婦人科	21
消化器内科	18	小児科	20
肝胆膵・移植外科	24	泌尿器外科	10
呼吸器外科	7	皮膚科	19
消化管外科	33	リウマチ・膠原病内科	3
乳腺・内分泌・甲状腺外科	78	その他	2
呼吸器内科	36	合計	293



臨床腫瘍セミナー開催案内

《日 時》平成24年10月23日(火) 18時~19時

《場 所》11号館 第二臨床講義室

《演 題》「オピオイド注射薬の使い方とペインクリニック的がん疼痛治療法」

《講 師》公益財団法人 がん研有明病院
麻酔科(ペインクリニック)副部長 服部政治先生

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。

Cancer Board開催案内

*10月15日(月) 18:00~ 骨軟部

*10月18日(木) 19:30~ 消化器

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。

【文責】臨床腫瘍センター

〈お問い合わせ〉内線:3160 E-mail: hayasi-v@fmu.ac.jp 担当:林